

外国語活動学習指導案

1 単元名 **What do you want?** 「ほしいものは何かな？」(Let's Try! 2 Unit 7)

2 単元の目標

- ・身近な食材について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。また、食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

【知識及び技能】

- ・食材など、欲しいものを尋ねたり要求したりする。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・進んで、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

【学びに向かう力、人間力等】

3 単元について

本単元は、学習指導要領外国語活動の目標（1）聞くこと イ「ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする」と（3）話すこと[発表]ウ「日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする」ことが目標である。

児童は昨年度から外国語活動を始め、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達と簡単なコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきた。多くの友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度も育ってきている。本単元では、これまでに慣れ親しんだ語彙や表現を使って、相手に配慮をしながら会話をつなげていこうとする態度を育てたい。そのために、やり取りの表現は短めのものにし、題材も児童にとって身近なものを取り上げた。「相槌を打つ」「相手の言葉を繰り返して確認する」「質問してみる」など、相手に配慮し、反応を見ながらやり取りを続けていく楽しさを感じられるようにしたい。

本単元では、“What do you want?” “I want ○○.”等の友達が欲しい物を尋ねたり、自分が欲しい物を答えたりして、欲しい物を伝え合う表現に慣れ親しみ、相手に配慮しながら自分のオリジナルメニューを紹介するという活動を設定する。単元の前半では、ゲームやチャンツなどを繰り返し行い、モデルとなる語彙や表現に児童が十分慣れ親しめるようにする。やり取りの中で、児童が自信をもって表現を使えるようにしたい。単元の後半で行うやり取りでは、モデルの表現を使うとともに、これまでに慣れ親しんできた語彙や表現にもふれ、それらも組み合わせて会話をつなげていけるようにしていく。

4 児童の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な食材について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。また、食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。	食材など、欲しいものを尋ねたり要求したりしている。	進んで、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。

6 単元の評価と指導計画(4 / 5)

時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○単元の見通しをもつ。	・日本語と英語の音声の違いに気づき、食材の言い方に慣れ親しんでいる。		
2	○欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。	・欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。		
3	○フルーツパフェについて紹介したり、欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合う。		・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、フルーツパフェを紹介し合っている。	
4 (本時)	○食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。		・食材について、欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。	

5	○相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介しようとする。			・相手に伝わるように、食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして紹介しようとしている。
---	---------------------------------	--	--	---

7 本単元で扱う表現・語彙

表現 What do you want? I want (potatoes). How many? (Two), please. Here you are.

Thank you.

What's this? It's a (fruit). Do you have (a pen?) Do you like (blue)? Yes, I do.

No, I don't. I (have/don't have) (a pen). (既習)

語彙 【果物】 melon, peach, banana, apple, pineapple, cherry, strawberry, orange, kiwi fruit

【野菜】 onion, mushroom, green pepper, tomato, cabbage, corn, carrot, cucumber, potato

【飲食物】 sausage

【数】 1~60

8 本時の指導

(1)本時の目標

○食材について、欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。【思考力、判断力、表現力等】

(2)本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 (2)	1 始めの挨拶をする。 T : Hello, how are you? Ss : I'm fine / happy / sad....	・笑顔で元気良く挨拶を交わすことにより、外国語に親しみやすい雰囲気をつくる。
導入 (3)	2 活動の見通しをもつ。 T : This is my special pizza. This is for Ishiisensei. He likes tomatoes, mushrooms, and sausages very much. Look, I have tomatoes, mushrooms,	・教師の作ったピザを例として見せて活動の見通しをもたせることで、ピザ作りに興味をもてるようにする。 ・活動をする前にピザをプレゼントする相手と欲しい食材を考えておくことによって、目的意識をもって活動できるようにする。

	<p>and sausages on my special pizza. This is LOVE TOMATO pizza. It is delicious.</p> <p>Let's make your special pizza!</p>	
<p>復習 (10)</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ピザを作るための食材を集めよう！</p> <p>3 表現を振り返る。</p> <p>・チャンツをする。</p> <p>【Let's Chant : What do you want?】</p> <p>・ Memory Game をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《Memory Game の進め方》</p> <p>① 食材カードを用意する。</p> <p>② 教師が言う食材の名前をよく聞く。</p> <p>③ 聞こえた順番に食材カードを並べる。</p> </div>	<p>・リズムを意識しながら言うことで、英語独特の響きや音を楽しめるようにする。</p> <p>・自信をもってゲームに取り組めるよう、ゲームを始める前にピクチャーカードを使って言い方を振り返る。</p> <p>・食材の名前を言う際は、段々とスピードを上げることで難易度を少しずつ上げていく。</p>
<p>展開 (25)</p>	<p>4 オリジナルピザを作るための食材集めをする。</p> <p>・食材の集め方を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《食材の集め方》</p> <p>① お店屋さんとお客さんに分かれる。</p> <p>② お客さんは買い物リストを見ながら食材を集める。お店さんはお客さんに売っているものを見せないうようにする。</p> <p>③ お店屋さん、お客さんどちらも1回ずつ行う。</p> </div> <p>T : Hello. What do you want? S : I want tomatoes.</p>	<p>・教師と代表児童がデモンストレーションを行い、やりとりの仕方を理解できるようにする。</p> <p>・やり取りの中で、相槌を打ったり、相手の言葉を繰り返して確認したりできるとよいことにもふれ、会話をつなげていけるようにする。</p> <p>・相手を意識してやり取りをしている児童を紹介し、会話をつなげながらやり取りをしていく意欲を高める。</p> <p>・児童の中で、即興的なやり取りが見られたら、称賛して励まし、自信をもって会話をつなげられるようにする。</p> <p>◎食材について、欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。【思考力・判断力・表現力等】</p>

<p>終末 (5)</p>	<p>T : OK. How many? S : Two please. T : OK. Here you are. S : Thank you. T : You're welcome.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた食材を振り返りながら、相手のことを思って工夫した点や、ピザの名前を考える。 <p>5 振り返りカードに自身の取り組みについて記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のピザは、誰のためにどのような工夫をして作ったかを次時で紹介することを伝え、見通しをもてるようにする。 ・買い物リストに書いていたけれど集められなかった食材がある児童を把握しておき、ピザを作る活動までに食材を集められるようにする。 ・児童の取り組む姿勢について、具体的によかったところを挙げ、次時への意欲がもてるようにする。
-------------------	---	---